型式: Unit01_Test

FOMA_USB_Unit01(USBホスト搭載インターフェイスボード)評価基板

　Unit01_Testボード「Unit01_Test」は、別売品のUSBホスト搭載インターフェイスボード「FOMA_USB_Unit01」をパソコンと接続して簡単に動作を評価するためのものです。

●Unit01_Testボードのセット内容

1. Unit01_Test ボード完成品　　　　1枚
2. 専用ACアダプタ　　　　1個
3. USBケーブル　　　　1本
4. FOMA携帯プラグとコードセット　　　　1式

(携帯ケーブルとFOMA携帯プラグは組み立てキットになっています)

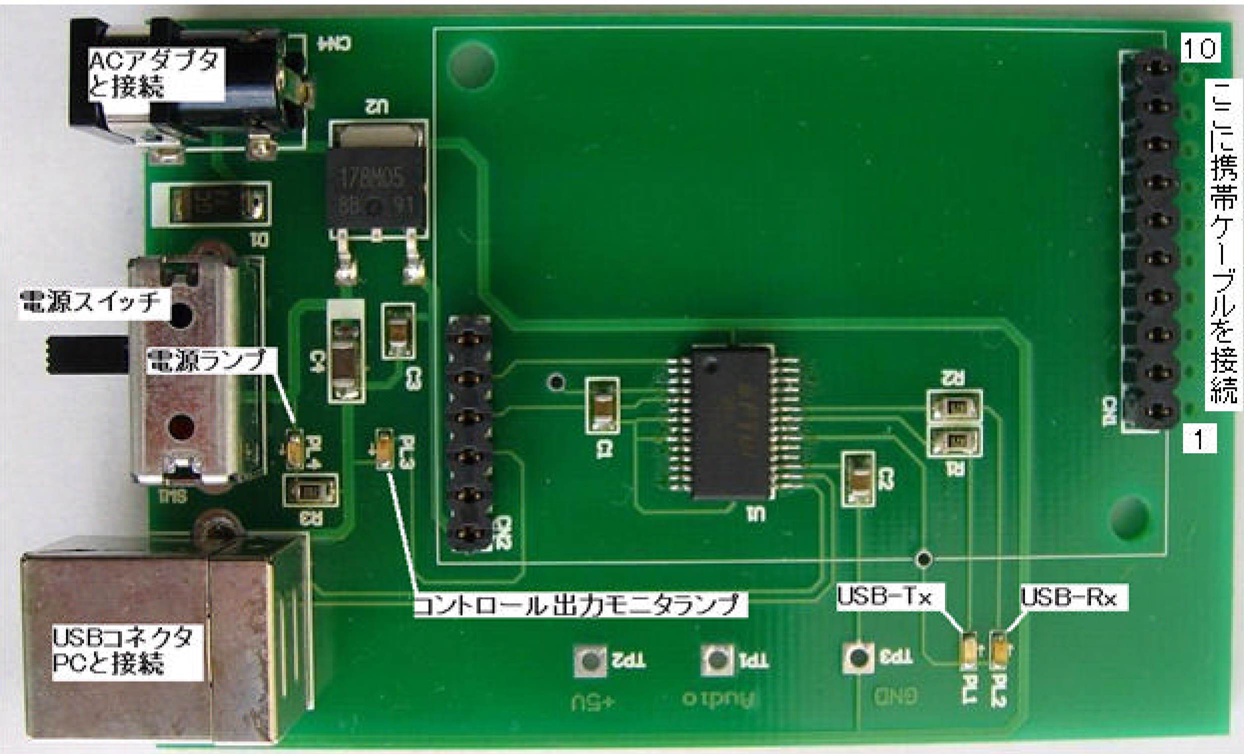
・IMT-2000携帯電話用コネクタ(A)　ヒロセ　MQ198B-10S-CV(01)　1セット。

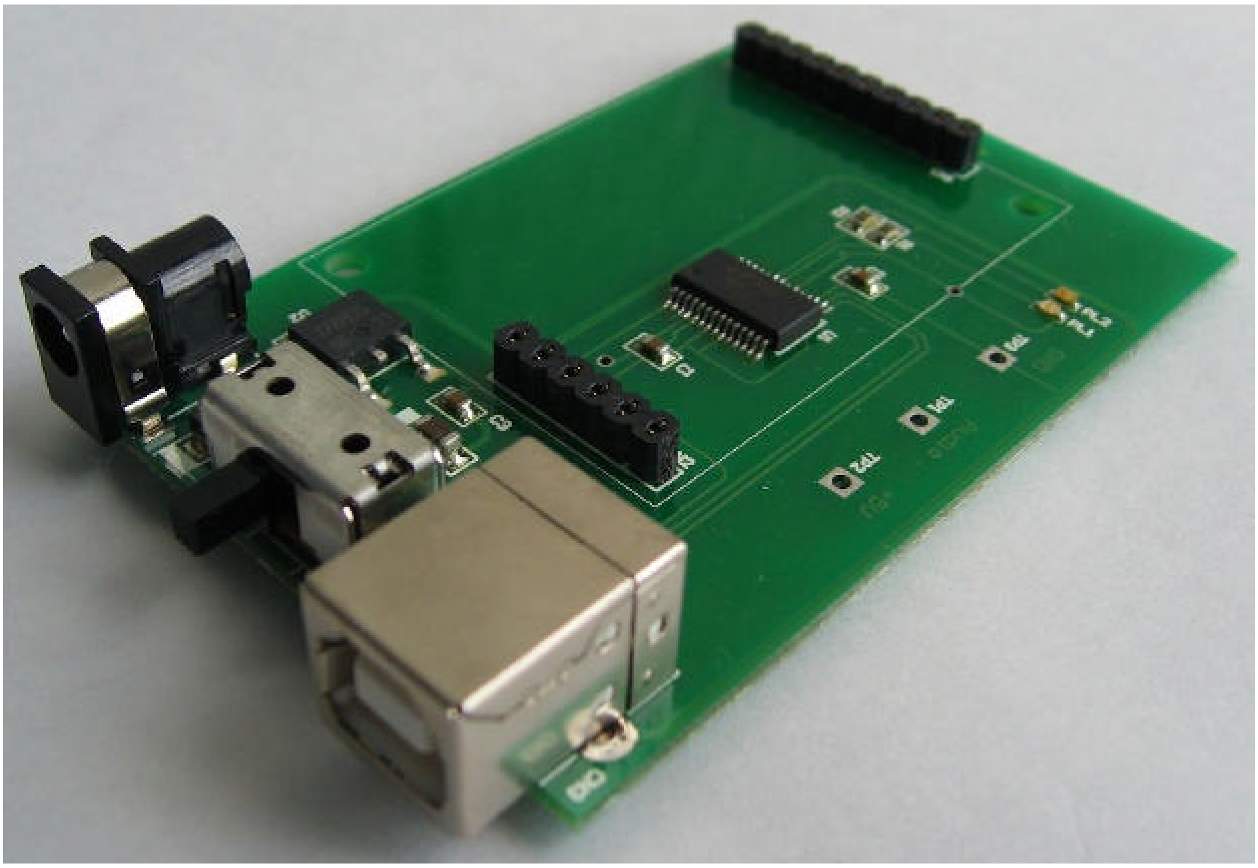
・ケーブル10芯 40Cm　　　　1本

*本製品には、FOMA_USB_Unit01(USBホスト搭載ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽﾎﾞｰﾄﾞ)は付属していません。別途お買い求めください。

*パソコン側のソフトウェアは、フリーウェアを利用ください。シリアルデバイス通信ツール「Acknowrich あくのりっち」、「シリアルデバッグツール2」など。

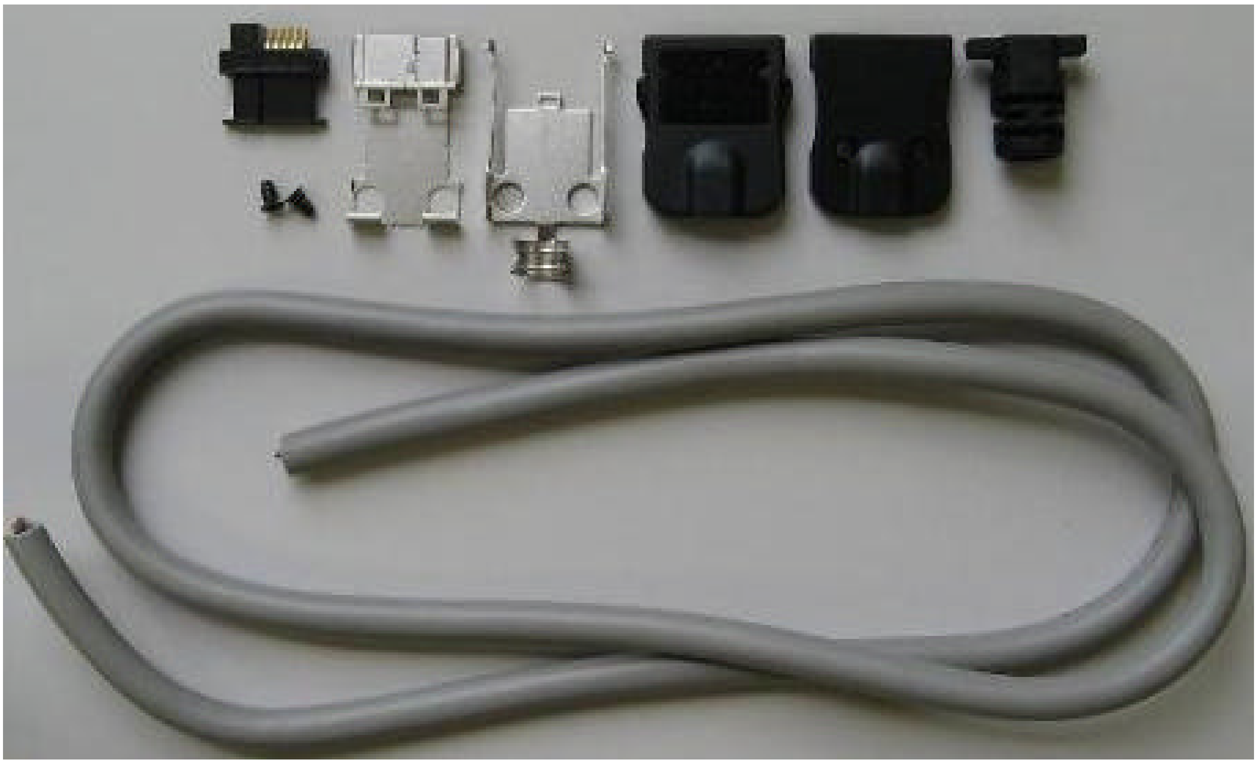
●基板(Unit01_Test 完成品)





●携帯ケーブルの接続

携帯ケーブルとFOMA携帯プラグは組み立てキットになっています。ご自身で半田付け等が困難な場合は、弊社にお申し付けください。組立は有償となります。
FOMA携帯プラグとコードセットには以下のものがセットになっています。

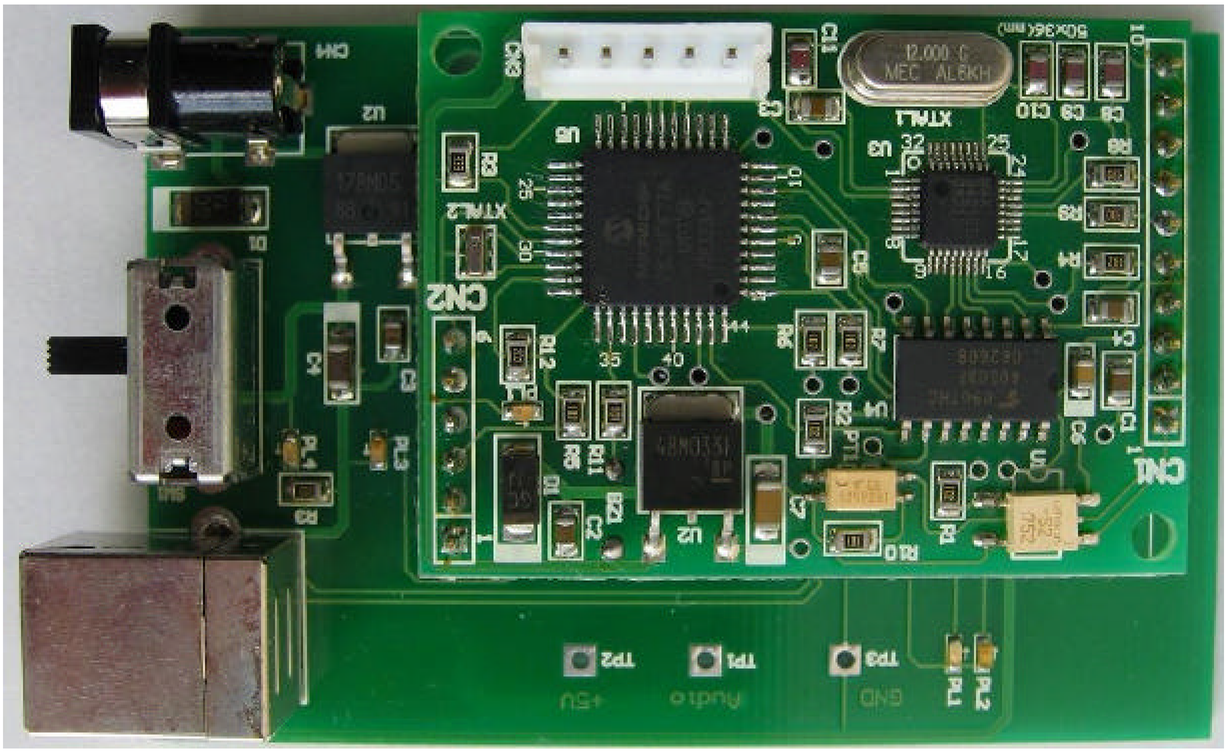


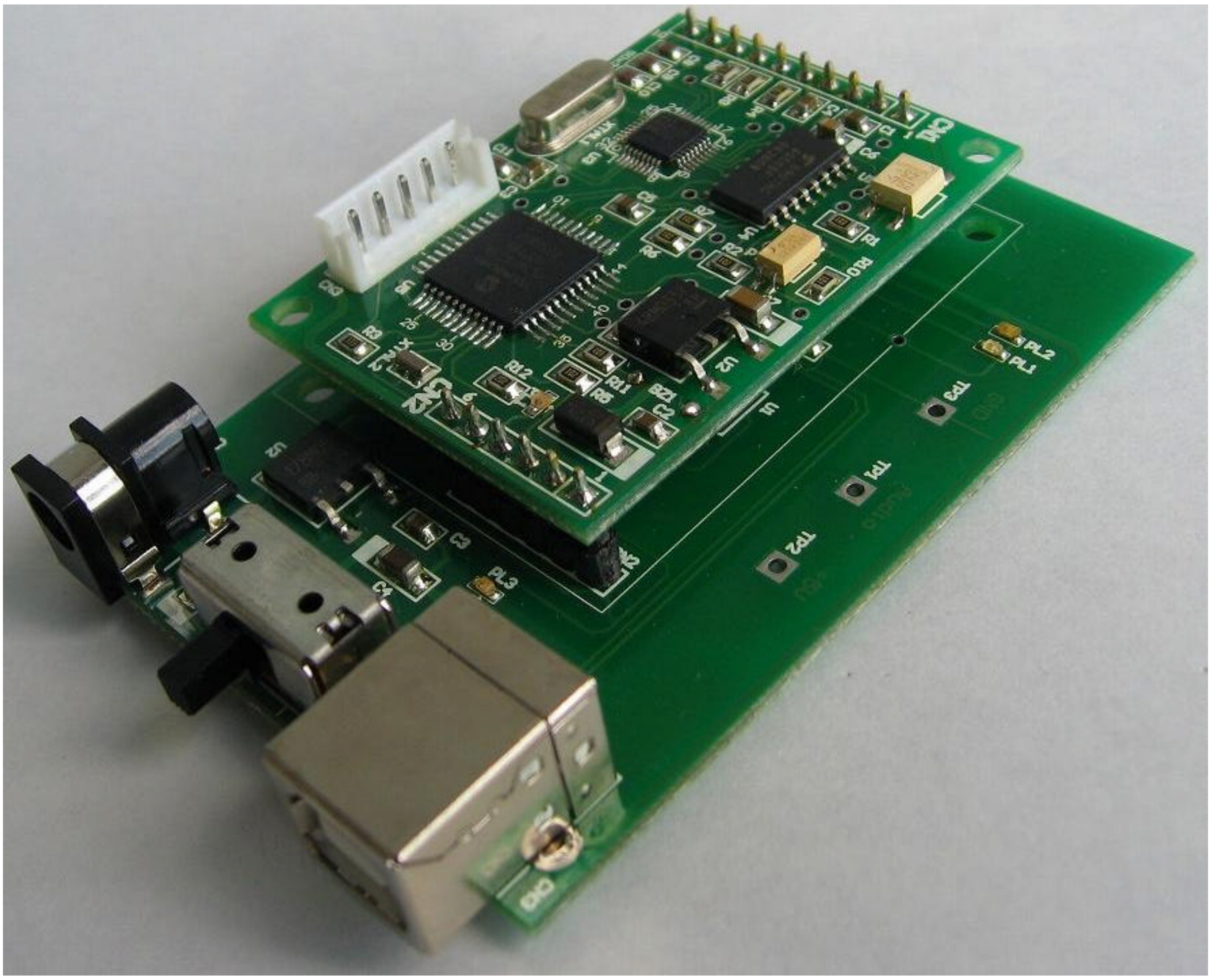
携帯ケーブルの組立が完成しましたら、導通検査をして、ケーブル端を「Unit01_Testボード」のCN1へ接続します。ケーブルはCN1の横の基板穴に部品面からリード線を差し込んでハンダ面の該当する端子ピンへ半田付けします。
接続端子位置は、FOMA_USB_Unit01の取扱説明書をご覧ください。

● 「FOMA_USB_Unit01」の取付

取付後は下記のようになります。全てのコネクタピンの位置がぴったり合っていることを確認して真上からまっすぐ下に向けて押し込むように差し込みます。

抜き取る場合は、大きめのマイナスドライバーなどでこじりながら少しずつ浮かせるようにして引き抜きます。





●USB ドライバーをパソコンにインストールする

USB ドライバーは、弊社ホームページにございますので、予めパソコンの適当なフォルダーにダウンロードしておいてください。ドライバーの説明書は、弊社製品WhiteLock110F用として書かれていますが、本ボードでも同様にインストールしてください。

ドライバの説明書は、 http://www.adocon.jp/7398.html にございます。

ドライバーの準備が出来ましたら、テストボードにACアダプタを接続しない状態で、付属のUSBケーブルでテストボードとパソコンを接続します。あとは説明書とパソコンの画面の指示に従って操作してください。

●使い方

FOMA_USB_Unit01の取扱説明書をご覧ください。

株式会社アドコン

〒690-2101 島根県松江市八雲町日吉3-24
TEL 0852-54-2036 FAX 0852-54-2196
http://www.adocon.jp/
(C)2010 ADOCON CO.,LTD All right reserved.